

2007年11月7日

お客様各位

日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア事業部

IBM パスポート・アドバンテージ・サブキャパシティー料金につきまして

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、弊社は2007年11月7日付で、IBMパスポート・アドバンテージ・サブキャパシティー料金に関する発表を行ないました。この発表に基づき、お客様にご締結いただいております「IBMパスポート・アドバンテージのご契約条件 サブキャパシティー料金に関する特則／合意書」(Z125-7174-00 5/2005、以下「特則」といいます。)第4項「サブキャパシティー料金を受けるためのお客様の役割」第2号および第3号に記載の以下2要件が、本書簡をもって削除されますことをご通知申し上げます。

2. IBM のライセンス管理システム (License Management System) アプリケーションへの登録
3. IBM へ四半期ごとのプログラム使用レポートの提出

また、特則第4項1号に記載の IBM Tivoli License Compliance Manager (ITLCM) プログラム導入に関する要件につきましては、引き続き一時的に停止させていただきます。

なお、必要ライセンス数量の発注および維持の責任、および特則で定めているその他全ての契約条件の遵守に関するお客様の責任については、変更ございません。お客様におかれましては、IBM による監査で使用予定の新ライセンス管理ツール(後述)が使用可能になり次第、当該ツールを利用してレポートを作成いただくこととなります。

併せて、同発表では、IBM の今後の方針について以下の発表を行いました。

- 新ライセンス管理ツールは、パスポート・アドバンテージ／サブキャパシティー料金の適用で必要となるプロセッサ Value Unit (PVU) 課金のライセンスの管理に対応予定です。お客様は必要に応じて、フル・キャパシティーのライセンスを管理する目的でも新ライセンス管理ツールをご使用いただけます。新ツールの利用開始は、2008年中頃を予定しています。
- 新ライセンス管理ツールは、いくつかの新しい POWER 6 および AIX V6.1 テクノロジーをサポートする予定です。これらのテクノロジーは現行の ITLCM でサポートされていないため、現時点ではサブキャパシティーのパーティション技術 / 仮想化技術としては利用することはできません。

- 新ライセンス管理ツールに関連して、より簡素化されたサブキャパシティー・ライセンスの提供も予定しています。

発表詳細に関しては、以下のWebサイトからレター番号「SWG07020」をご参照ください。

<http://www.ibm.com/jp/domino02/NewAIS/aisextr.nsf/aissearch>

なお、具体的な製品化の最終決定は、今後のIBMの技術上及び経営上の判断に基づいて行われ、予告なく計画を変更または中止する場合がありますことを、予めご了解ください。

弊社は、上記および来年に予定されている強化により、サブキャパシティー環境におけるお客様のIBMプログラムのライセンス管理が改善されるものと確信しております。今後ともIBMソフトウェア製品をご愛用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

パスポート・アドバンテージのサブキャパシティー・ライセンスに関する詳細情報については、以下のWebサイトをご覧ください。(英文)

<http://www-142.ibm.com/software/sw-lotus/services/cwepassport.nsf/wdocs/subcaplicensing>

パスポート・アドバンテージに関する詳細情報については、以下のWebサイトをご覧ください。

http://www.ibm.com/j_p/software/passportadvantage

ご不明な点につきましては、貴社ご担当のIBMビジネス・パートナー、弊社営業担当員にご連絡いただくか、paoffice@jp.ibm.com までEメールでお問い合わせください。